

# 大空 (生徒・保護者向け) 10号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年6月19日(金)

## 心配するな、工夫せよ—生徒会総務交代式挨拶—

### □本日の概要

- 第91期生徒会総務の皆さんが、新型コロナウイルスの感染拡大という試練の中、見えないところで尽力していたことは、全校の皆さんも知っていて欲しい。
- 行事は思うようにできなかったものの、91期生徒会総務の調査のおかげで、県立高校のトイレ洋式化が一步進むことになった。自分たちの成果に誇りを持ってほしい。
- 92期生徒会は困難が予想される中、学校をよくするために自ら立候補してくれた。「心配するな、工夫せよ」の言葉のとおり、英知を生かして新しいものを創造してほしい。
- 全校生徒の皆さんも、生徒会に何かをしてもらうのではなく、自分たちが何ができるかを考えて欲しい。「大変」な時は、大きく変わる時である。

### □第91期生徒会総務の皆さんへ感謝

第91期生徒会の皆さん、本当にご苦労様でした。皆さんが生徒会役員になったのは令和元年10月でした。本来なら、任期は今年の5月までのはずでしたが、新型コロナウイルスによる休校の影響で、任期が1ヶ月近く延びてしまいました。特に、今年の1月からの6ヶ月間は激動の日々だったと思います。

振り返ると、新型コロナウイルスに関して、日本で1例目の患者が確認されたのは1月16日のことで、当時は、多くの人が、中国の限られた地区の問題という感覚でした。その後、2月1日にクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号での感染者が発見され、国内の状況は急速に悪化し、2月末には安倍首相から異例の全国一斉休校要請が出ることとなりました。突然、卒業式に在校生が出席することはできなくなり、卒業生を送る行事や、クラスマッチなどの学校行事は中止になりました。4月に学校が再開しましたが、それもつかの間、緊急事態宣言の下、再び休校になり、ほとんどの行事が中止、もしくは変更となり、先の行事についてもどうなるのか分からないという状態になりました。

皆さんも考えてみてください。卒業生を送る企画、新入生歓迎遠足、部活動の紹介、四校定期戦等、生

徒会の皆さんがせっかく企画した大きな行事が中止になってしまったのです。四校定期戦などは、2月から準備を進めていたそうです。また、歓迎遠足も下見を行い、1年生を歓迎するイベントを企画・準備していました。

私が、生徒会の皆さんに申し訳ないと思うのは、皆さんが一生懸命検討し、時間をかけて、多くの準備を重ねてきたものについて、直前になって変更や中止の判断をせざるを得なかったことです。新型コロナウイルスという世界的な危機が原因だと理解していても、準備や努力を重ねてきたことが実行できないまま終わってしまうということは、さぞ辛かったことと思います。部活動紹介については、2月から動画やマイク・パフォーマンスによる紹介を準備していたのにもかかわらず、急遽、部活動リーフレットに変更になりました。それでも、生徒会の皆さんは、部活動キャプテンの思いを汲み取りながら、何とかして部活動の紹介ができないか、皆さんのために一生懸命模索していました。生徒会長の副島さんは、4月に校長室を訪れてくれました。そして、自分たちが様々な行事を企画してきたこと、新入生を歓迎するためにできるだけのことを実施したいこと、新入部員が入らなければ活動できなくなる部活動もあるため部活動紹介を実施したいことなど、様々な思いを語ってくれました。一般の生徒の皆さんは、大きな行事がありませんでしたので生徒会の活動ぶりが伝わりにくかったと思いますが、91期生徒会が、見えない所で、何とかしようと尽力していたことは、全校の皆さんにも分かって欲しいと思います。

### □第91期生徒会総務の成果

しかし、達成できなかったことばかりではありません。昨年、生徒会が中心となって学校修繕アンケートを実施しました。学校のトイレの改善については多くの学校が要望するのですが、生徒の要望が具体的な形になっている資料はあまりありませんでした。教育委員会が施設の改修工事の要望について実地調査に来た際、生徒会が中心となってまとめたデータを資料として提供しましたが、非常に興味深く受け止められたと聞いています。そして、本年度、

県教育委員会は予算措置を行い、トイレの洋式化の工事が実施できるようになりました。もちろん、本校のすべてのトイレではありませんが、生徒会が、全校生徒の思いを汲み取るという、地道な仕事があった成果です。91期の皆さんは、やりたいことが十分にやれなかったという思いがあるかもしれませんが、実は、後輩達に残る、大いなる成果を上げているのです。自分たちの仕事に誇りを持って欲しいと思います。

### □第92期生徒会総務への期待

第92期の皆さんは、困難が予想される中によるこそ立候補してくれました。皆さんの、本校をもっと素晴らしいものにしたい、盛り上げたいという思いに感謝します。新たな日常が始まったとは言っても、これからの私達の生活については新型コロナウイルスの影響は避けられません。これからも、様々な制限に直面することになるでしょう。しかし、この状況で、できないことを嘆くのではなく、制約の中だからこそ、新しいものを創造して欲しいと思います。宮崎県の観光の父と言われる岩切章太郎は、「心配するな、工夫せよ」という言葉を残しています。新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされる中、できないことばかりを嘆くのではなく、制約の中だからこそ、皆さんの「英知」を生かして新しいものを「創造」して欲しいと思います。生徒の皆さんも、生徒会に「何かをしてもらう」という受動的な態度ではなく、自分がこの学校の一員として「何ができるか」を一人一人が考えてください。そして、行動に移してください。

今、私達は制約の中にいます。大変な時ですが、大変は「大きく変わる」という意味です。今は、宮崎西校の新しいスタイルを構築するチャンスです。生徒会をはじめとする、全校生徒の創意工夫に期待しています。がんばりましょう。



91期総務退任式



91期生徒会総務定例会の様子



91期生徒会総務の皆さん



92期生徒会任命式



92期生徒会総務の皆さん